

○茨木市立地適正化計画について（再整理） 資料編

(1) 人口

表1 総人口・世代別人口及び人口密度

	世代別人口（人）			増減率 (2040/2010)	世代別割合		市域面積 (ha)	人口密度（人/ha）	
	2010年	※(参考)2017年	2040年		2010年	2040年		2010年	2040年
総人口	274,915	281,138	257,666	93.7% (-6.3%)	—	—	7,649	35.9	33.7
子育て世代人口 (25~39歳)	61,650	50,720	43,110	69.9% (-30.1%)	22.4%	16.7%	—	—	—
高齢者人口 (65歳~)	53,456	66,013	87,159	163.0% (+63%)	19.4%	33.8%	—	—	—

※出典：国土交通省国土技術政策総合研究所データ

注) 本データは、国勢調査（2010年10月実施）を元に2040年の人口を算出しており、2011年以降の開発動向など、社会増を考慮していないデータである。

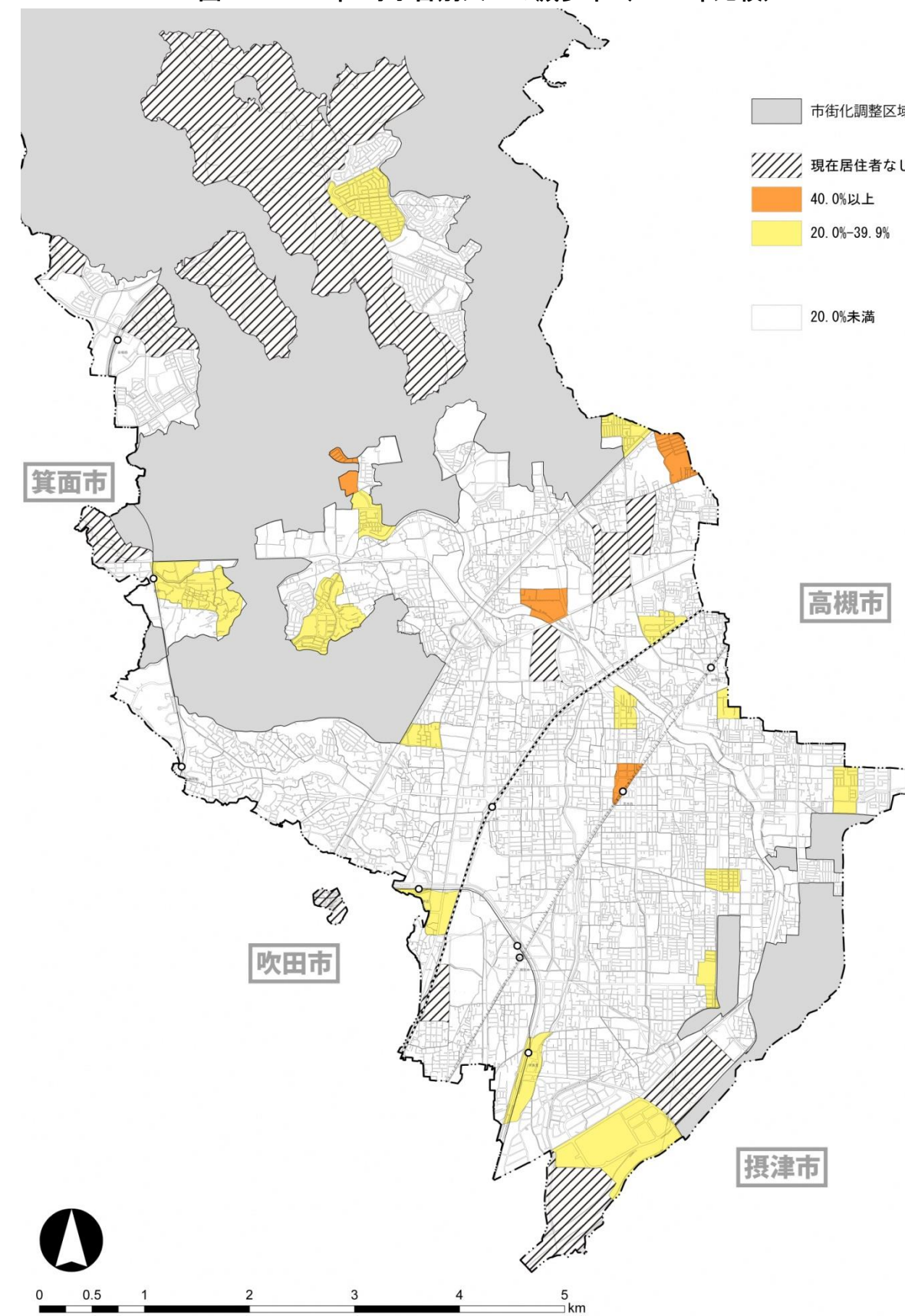
※(参考)2017年データは、住民基本台帳データの2017年9月の値を使用

表2 都市計画区域別人口及び人口密度

	都市計画区域別人口（人）		区域人口割合		区域別面積（ha）		区域別人口密度（人/ha）	
	2010年	2040年	2010年	2040年	割合	2010年	2040年	
市街化区域	263,083	248,145	95.7%	96.3%	3,323	43.4%	79.2	74.7
市街化調整区域	11,832	9,521	4.3%	3.7%	4,326	56.6%	2.7	2.2

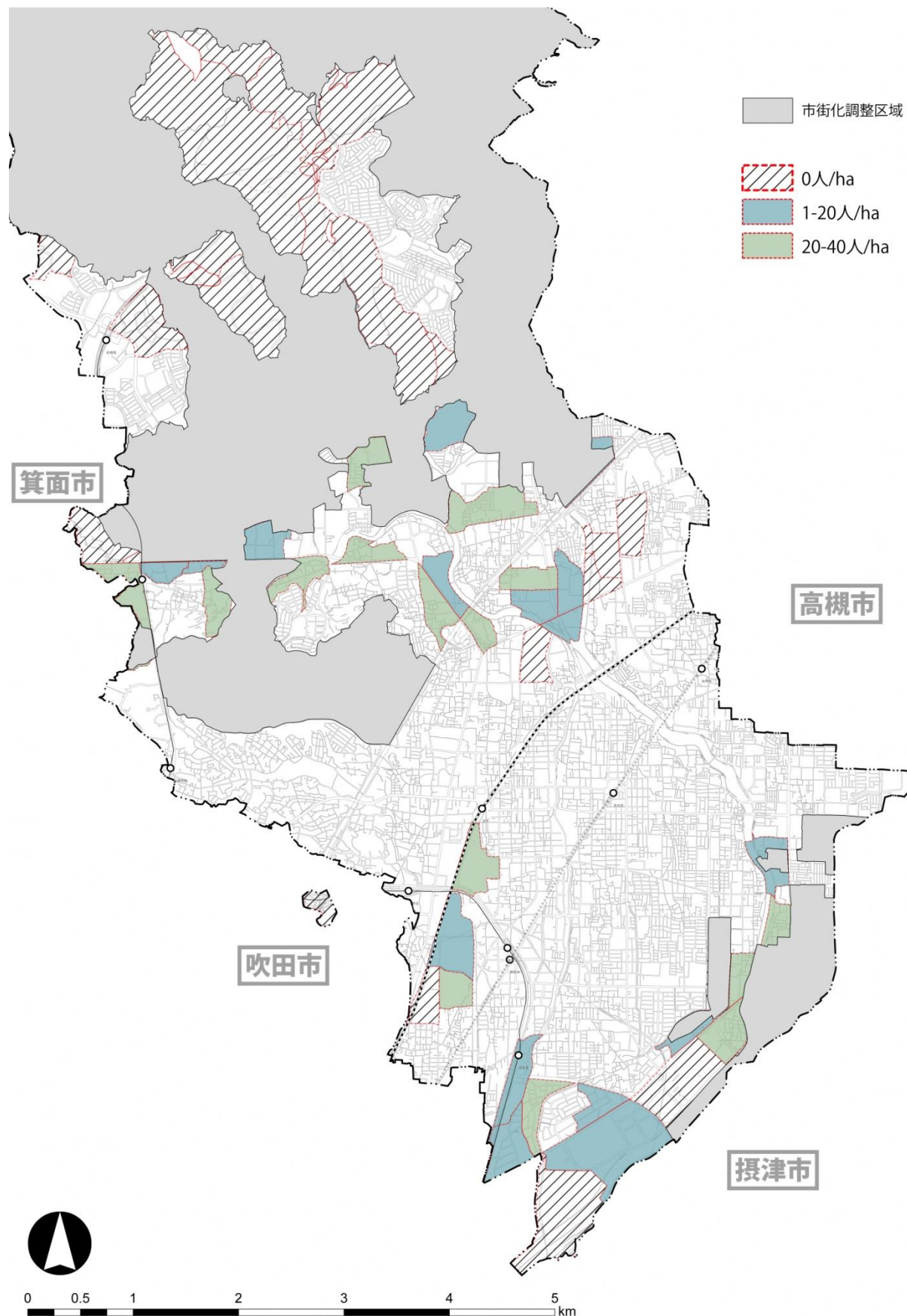
※出典：国土交通省国土技術政策総合研究所データ

図1 2040年町丁目別人口の減少率（2010年比較）



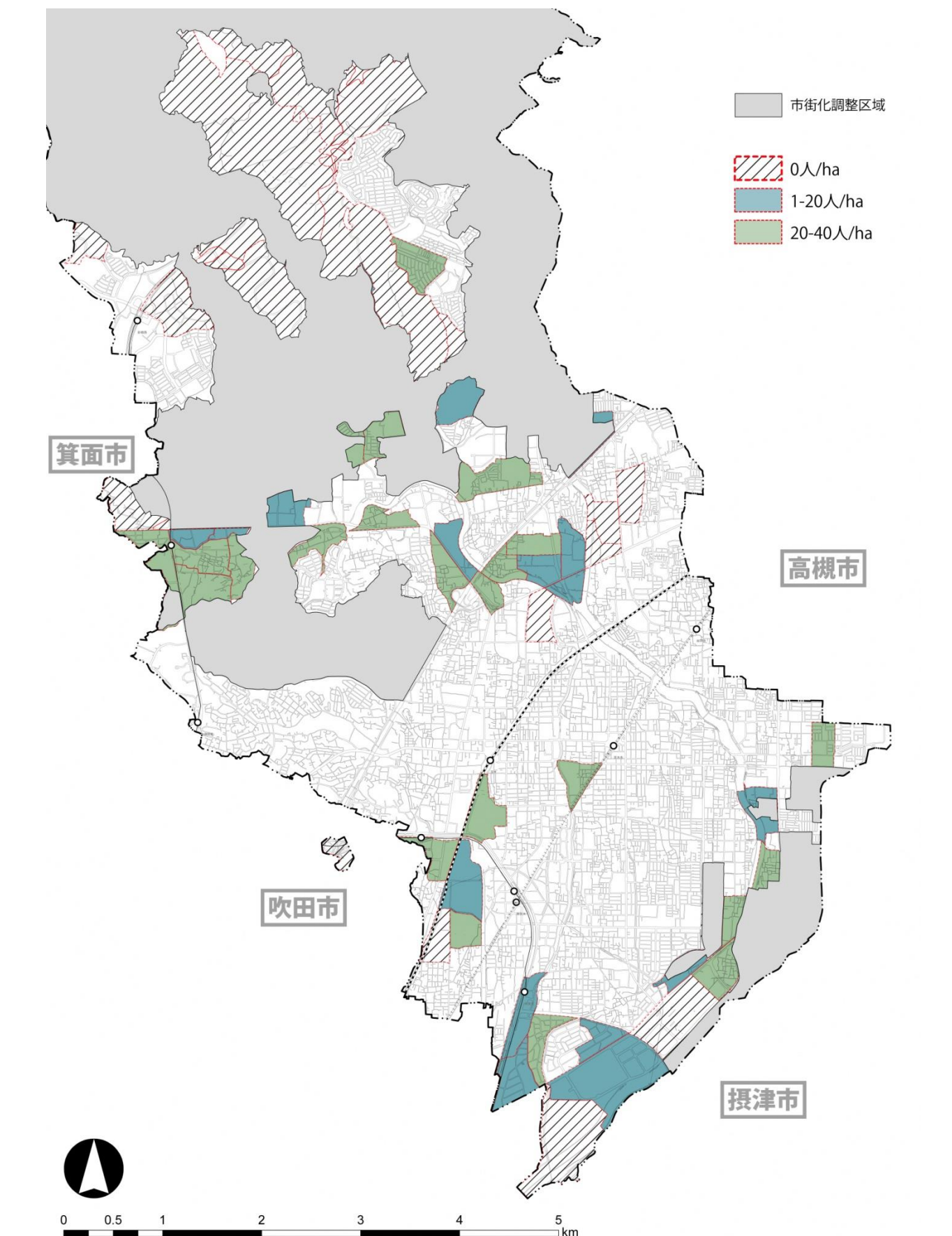
※出典：国土交通省国土技術政策総合研究所データ

図2 平成22年(2010年)町丁目別人口密度(0~40人/ha)



※出典：国土交通省国土技術政策総合研究所データ

図3 平成52年(2040年)町丁目別人口密度(0~40人/ha)



※出典：国土交通省国土技術政策総合研究所データ

(2) 都市機能

図4 子育て施設の立地状況

○施設圏域の考え方

国土交通省都市局都市計画課『都市構造の評価に関するハンドブック』より、
 ⇒「子育て施設」、「教育・文化施設」、「商業施設」は、徒歩圏800mを設定
 ⇒「福祉施設」、「医療施設」は高齢者に配慮し、徒歩圏500mを設定

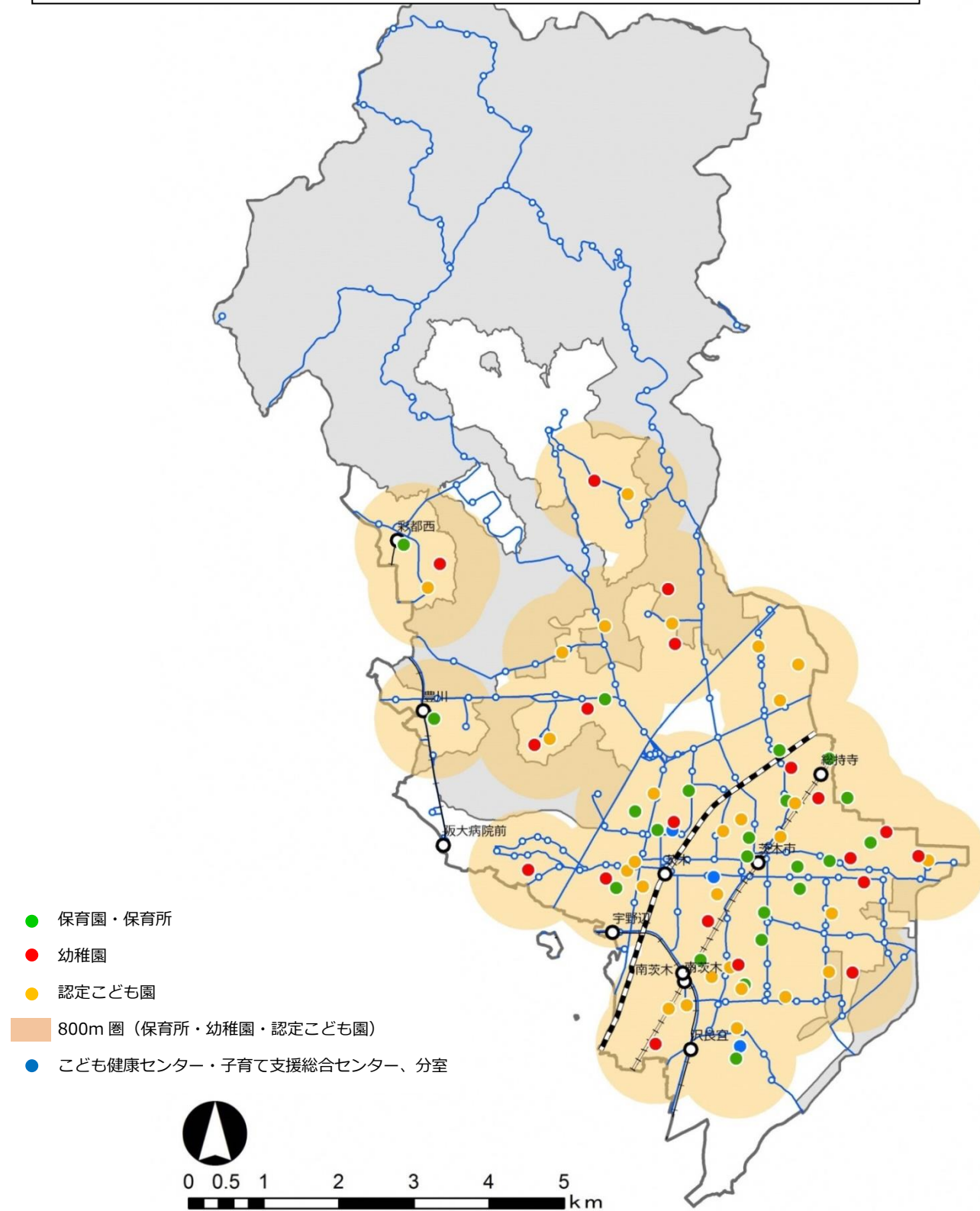


図5 福祉施設の立地状況

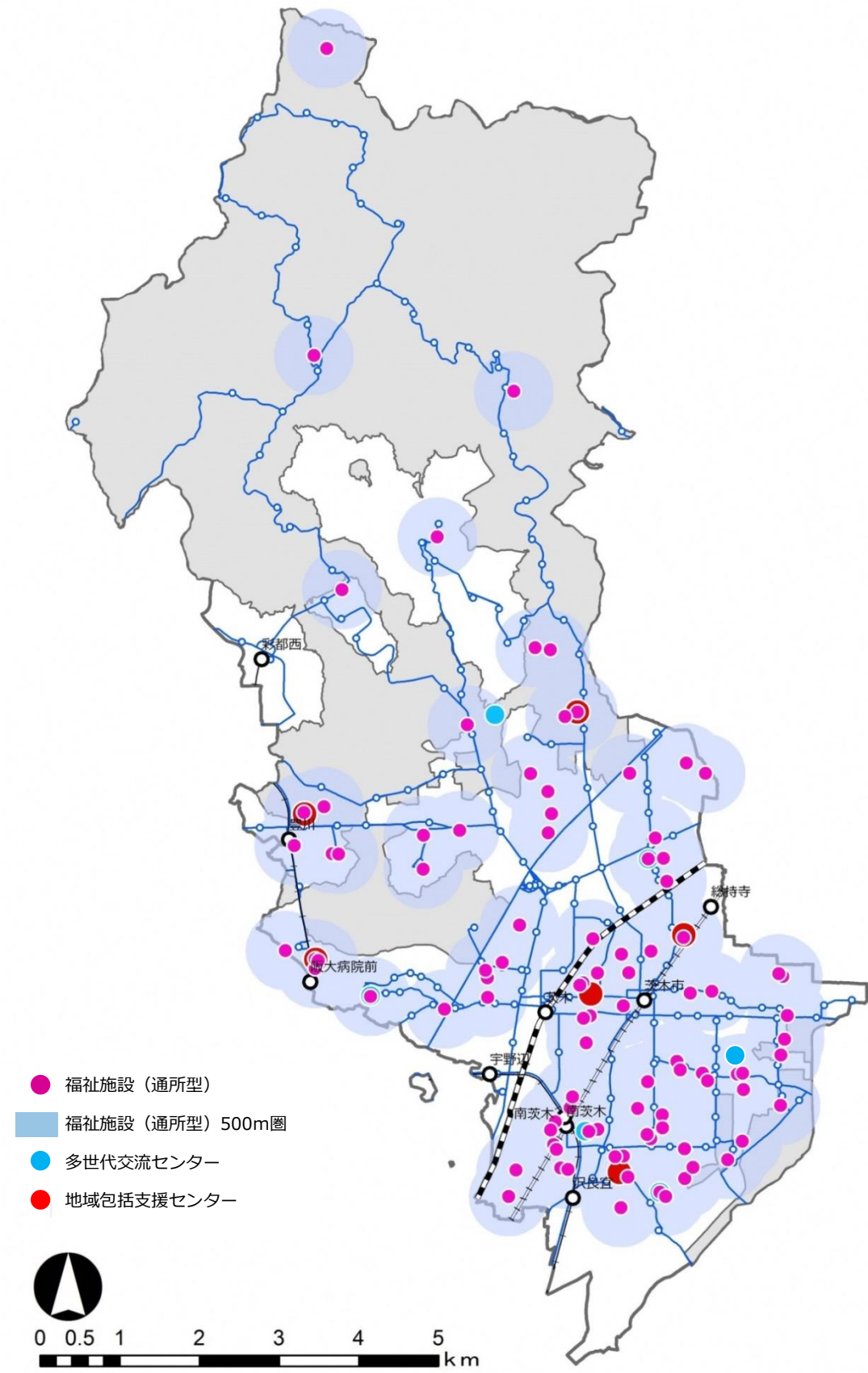


図6 教育・文化施設の立地状況

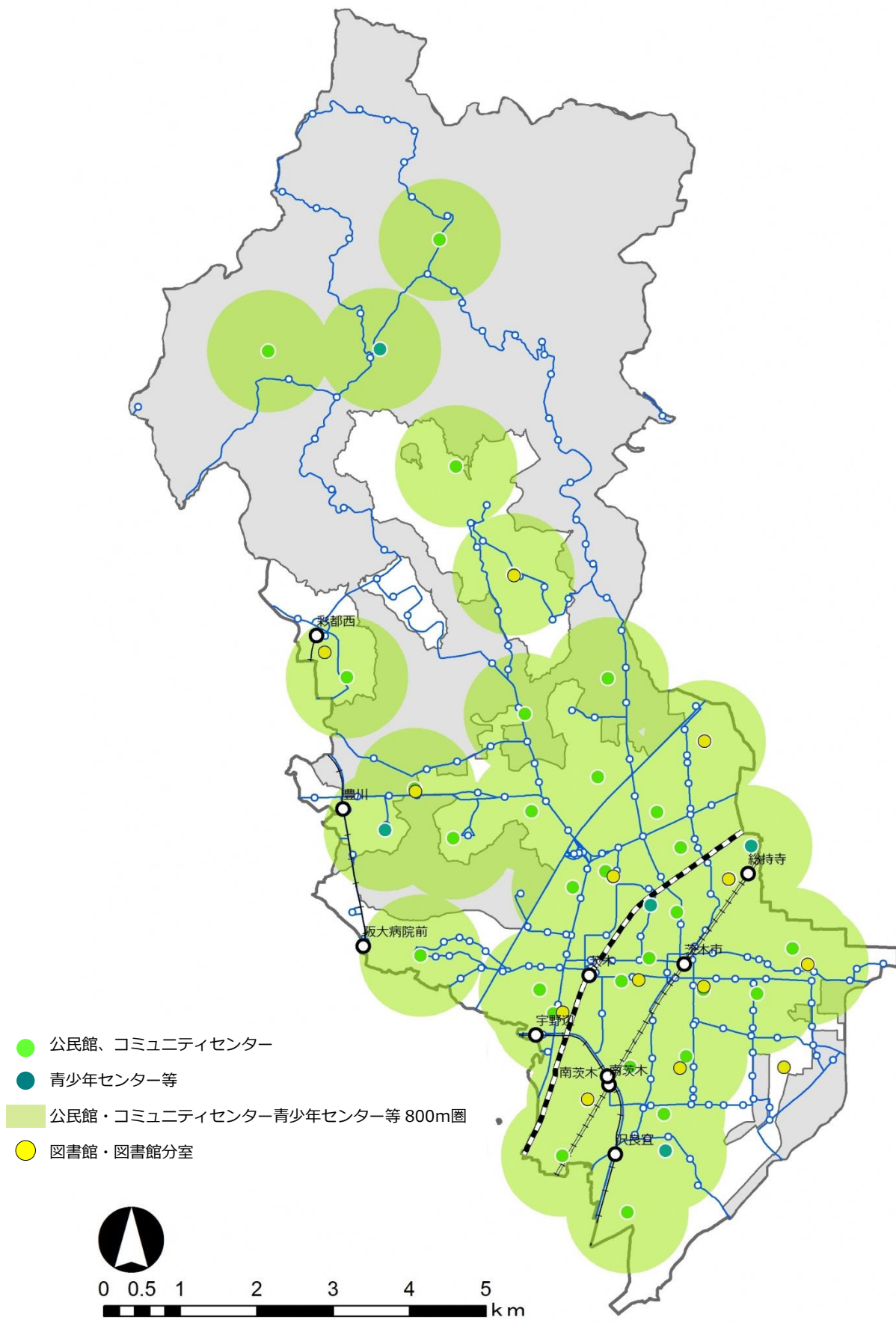


図7 医療施設の立地状況

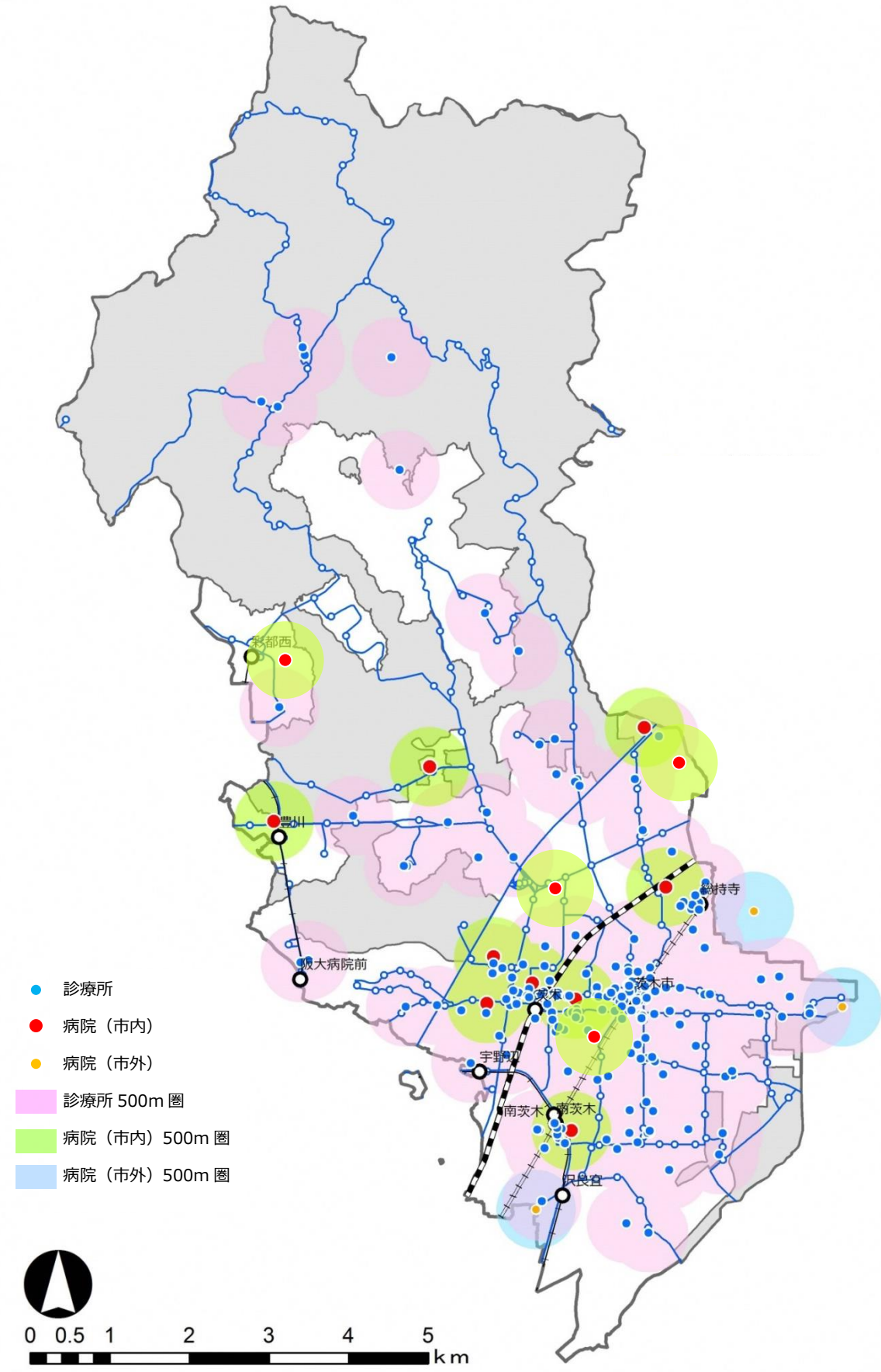


図8 商業施設の立地状況

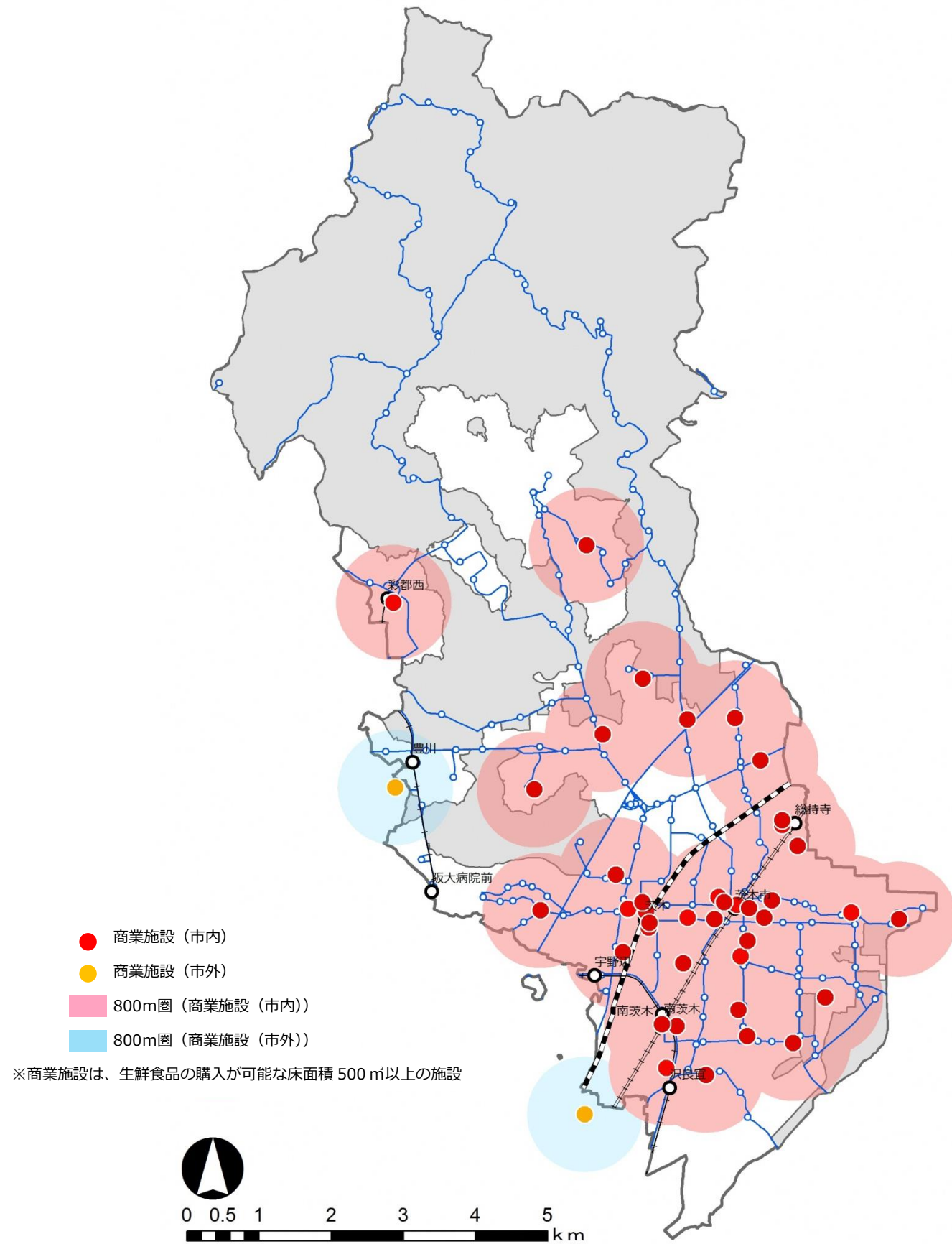
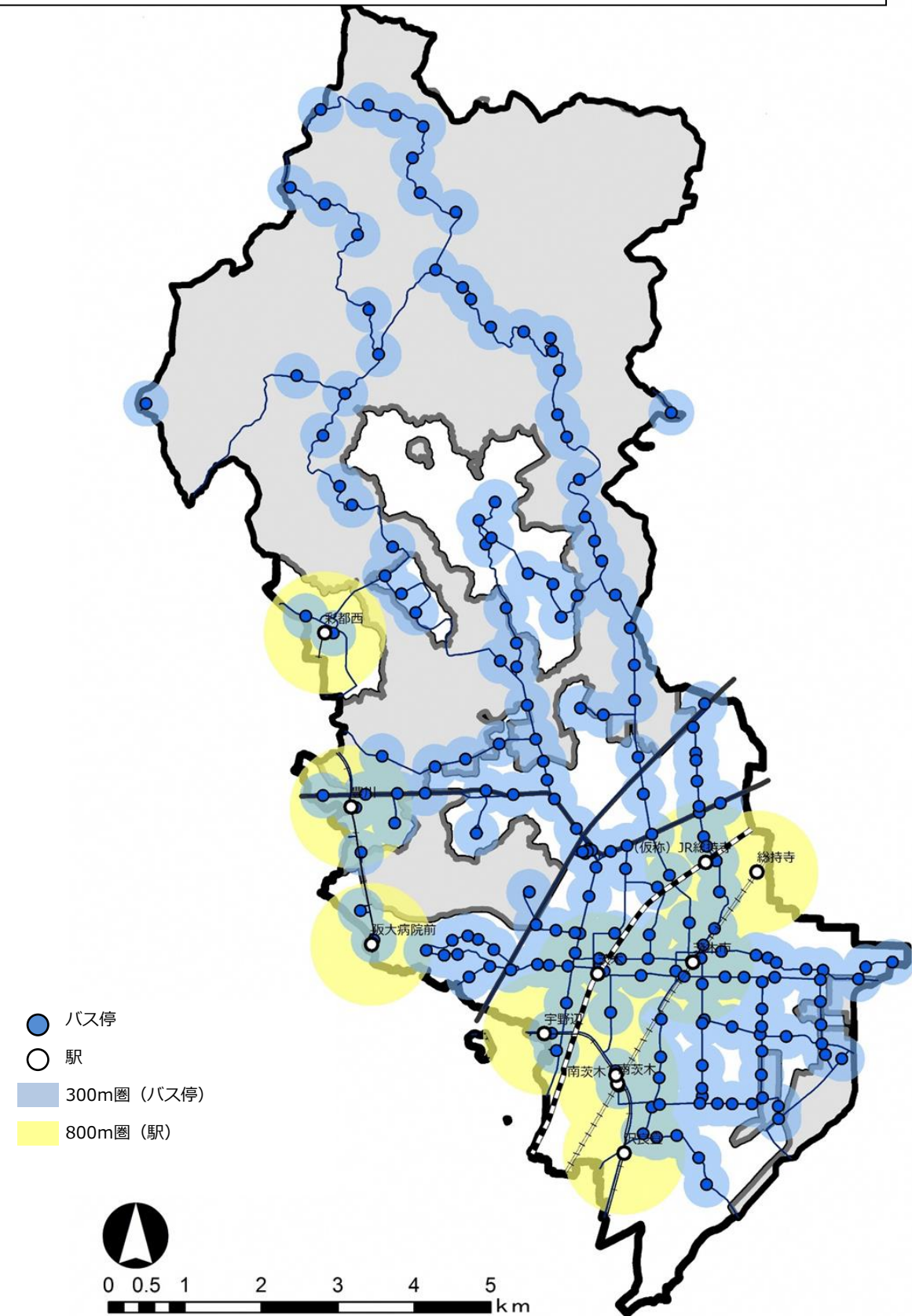


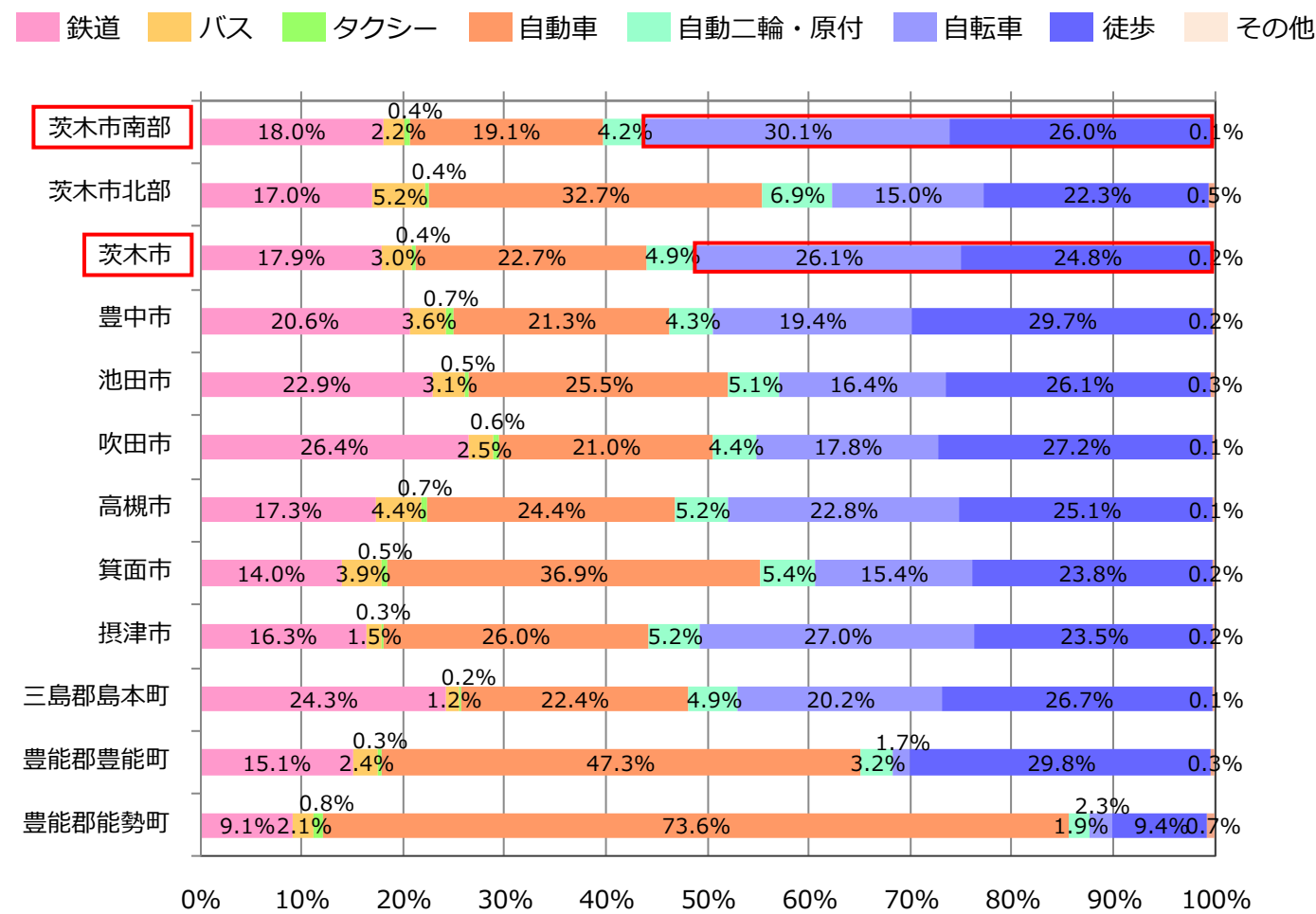
図9 公共交通ネットワーク

○バス停、駅の圏域の考え方
 国土交通省都市局都市計画課『都市構造の評価に関するハンドブック』より、
 ⇒「バス停」の徒歩圏 300mを設定
 ⇒「駅」の徒歩圏 800mを設定



(4) 産業

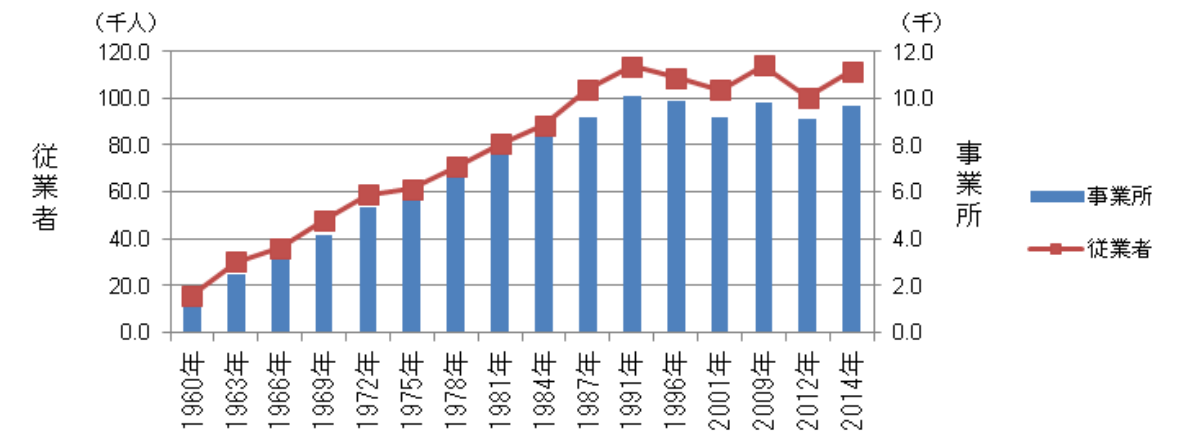
図10 茨木市及び近隣市町を起終点とする交通手段分担率



※交通手段「不明」を除く
 ※交通手段分担率：全て移動のうち、各交通手段が利用される割合
 ※茨木市北部、茨木市南部はPT調査におけるゾーン設定による
 茨木市北部：北部地域のほか丘陵地域及び中心地域の各一部に該当
 茨木市南部：南部地域のほか中心地域及び丘陵地域の各一部に該当

第5回（平成22年）近畿圏パーソントリップ調査の調査票情報を集計
 （平成26年3月策定茨木市総合交通戦略より）

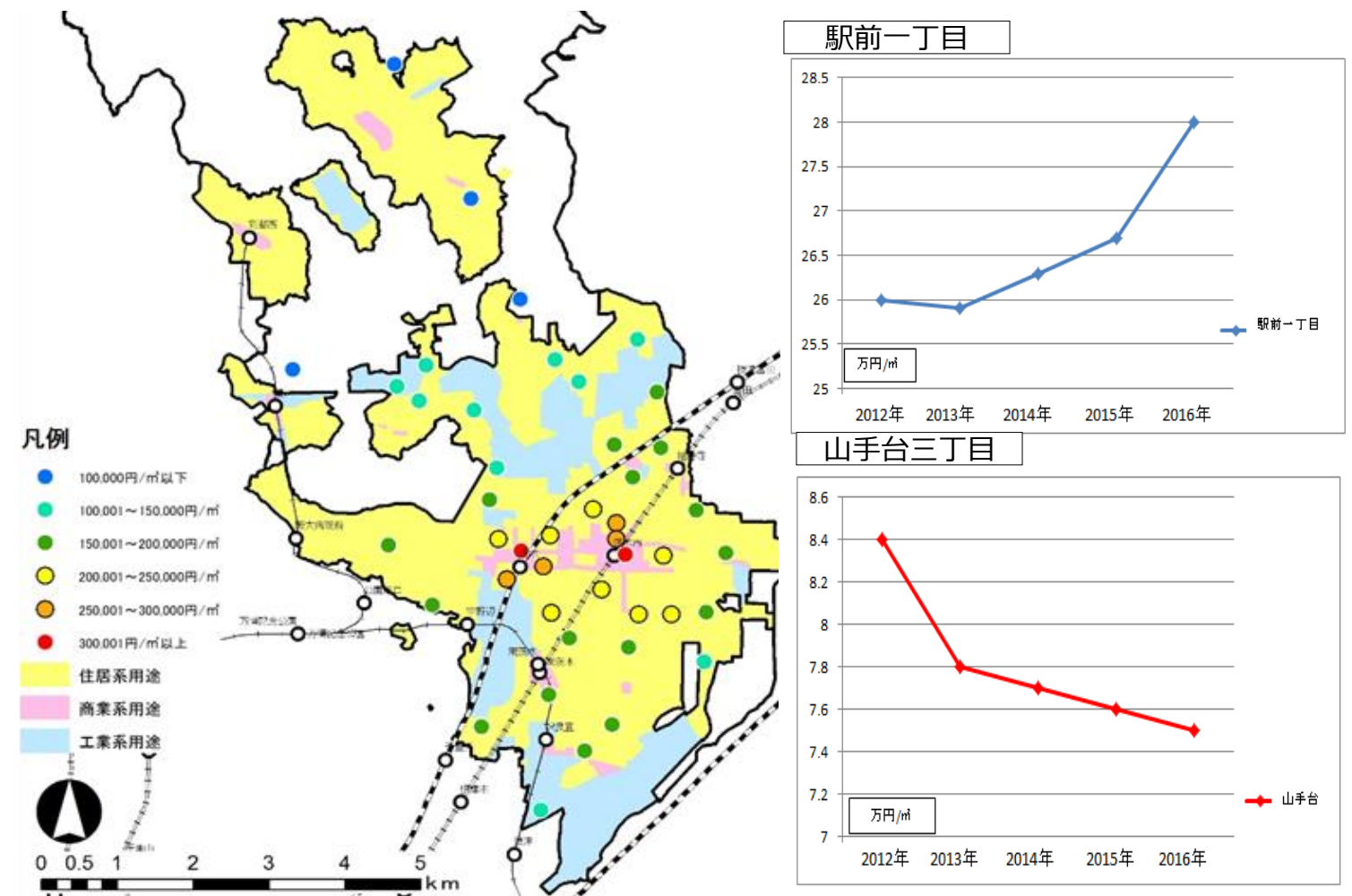
図11 事業所数従業員数の推移



（出典：事業所・企業統計、経済センサス）

(5) 公示価格

図12 公示地価分布と公示価格の経年変化



（出典：平成27年（2015年）地価公示データ）

(6) 市民の生活行動（市民アンケート調査の結果より）

表3 地域別目的別先行割合

(1)食料品など日常的な買い物	主な行き先 (10%以上)					
	1位		2位		3位	
お住まいの地域						
丘陵地域東部エリア	エリア内	48.8	市外	17.1	—	—
丘陵地域西部エリア	エリア内	35.5	中心中部	21.6	市外	19.6
中心地域東部エリア	エリア内	36.5	市外	24.4	中心中部	22.9
中心地域中部エリア	エリア内	59.0	市外	14.3	—	—
中心地域西部エリア	エリア内	38.9	中心中部	26.0	市外	17.6
南部地域エリア	エリア内	37.9	中心中部	28.3	市外	16.5

(3) 病院や診療所などの利用	主な行き先 (10%以上)					
	1位		2位		3位	
お住まいの地域						
丘陵地域東部エリア	エリア内	38.7	市外	22.6	中心中部	14.5
丘陵地域西部エリア	エリア内	51.6	中心中部	19.4	市外	16.1
中心地域東部エリア	エリア内	43.8	中心中部	22.1	市外	22.1
中心地域中部エリア	エリア内	68.7	市外	13.3	—	—
中心地域西部エリア	エリア内	43.3	中心中部	29.4	市外	14.3
南部地域エリア	エリア内	46.1	中心中部	28.9	市外	16.2

(4) 老人ホームや介護施設などの利用	主な行き先 (10%以上)					
	1位		2位		3位	
お住まいの地域						
丘陵地域東部エリア	エリア内	61.1	市外	27.8	—	—
丘陵地域西部エリア	エリア内	27.3	中心西部	27.3	市外	18.2
中心地域東部エリア	市外	45.9	エリア内	24.3	中心中部	10.8
中心地域中部エリア	市外	36.6	エリア内	26.8	—	—
中心地域西部エリア	エリア内	41.7	市外	29.2	中心中部/南部	12.5
南部地域エリア	エリア内	29.3	中心中部	24.4	市外	22.0

(5) 保育所や幼稚園、児童館などの利用	主な行き先 (10%以上)					
	1位		2位		3位	
お住まいの地域						
丘陵地域東部エリア	エリア内	81.8	—	—	—	—
丘陵地域西部エリア	エリア内	100	—	—	—	—
中心地域東部エリア	エリア内	75.9	中心中部	10.3	—	—
中心地域中部エリア	エリア内	62.2	中心西部	13.5	—	—
中心地域西部エリア	エリア内	59.5	中心中部	24.3	—	—
南部地域エリア	エリア内	64.0	中心中部	20.0	市外	10.0

(平成28年度(2016年度)実施 茨木市立地適正化計画に関するアンケート調査より)



表4 日用品以外（家具、電化製品など）の主な買い物場所

居住地	第1位	第2位
山間	市外 (66.6%) ※高槻市 25.3%、箕面市 22.4%	阪急茨木市駅・JR 茨木駅周辺 (56.9%)
山手台・彩都西・豊川・春日丘	市外 (112.8%) ※箕面市 34.7%、大阪市 25.2%、高槻市 24.8%	阪急茨木市駅・JR 茨木駅周辺 (33.1%)
安威・郡・福井	市外 (79.0%) ※高槻市 35.5%、箕面市 25.8%	お住まいの近く (36.3%)
白川・鮎川・太田・西河原・総持寺	市外 (64.0%) ※高槻市 42.5%、大阪市 13.0%	お住まいの近く (43.5%)
中心市街地	市外 (66.0%) ※大阪市 23.3%、高槻市 19.4%	阪急茨木市駅・JR 茨木駅周辺 (58.3%)
市南	市外 (61.2%) ※大阪市 23.2%、高槻市 17.4%	阪急茨木市駅・JR 茨木駅周辺 (53.7%)

(平成27年度(2015年度)実施 茨木市立地適正化計画に関するアンケート調査より)

